

# ArcGIS を利用した地理院地図の活用

2026 年 1 月 28 日(水)  
ESRI ジャパン 株式会社  
平松 龍騎



# 内容

- ・会社紹介
- ・ArcGIS について
- ・ArcGIS を利用した地理院地図の活用
- ・トピックス
- ・開発リソースのご紹介
- ・まとめ

# 会社紹介

## ArcGISを中心とした GIS (地理情報システム) 関連の製品販売&サービスを展開

設立: 2002年

代表者: 正木 千陽 代表取締役会長

山口 格 代表取締役社長

従業員数: 約280名

ユーザー数: 29,000 組織、39万ライセンス

GISパッケージソフトウェア国内最大手\*



本社所在地: 東京都千代田区平河町



# GIS の世界的リーディング企業 Esri 社



**1969**年創立  
**1982**年  
世界初の商用GISをリリース

GISソフトウェアの世界市場で  
シェア **No.1**

\* ARC Advisory Group, 2019年 調べ

収益の **30%** を  
研究開発に再投資

全世界で **73万** 以上  
の組織が導入

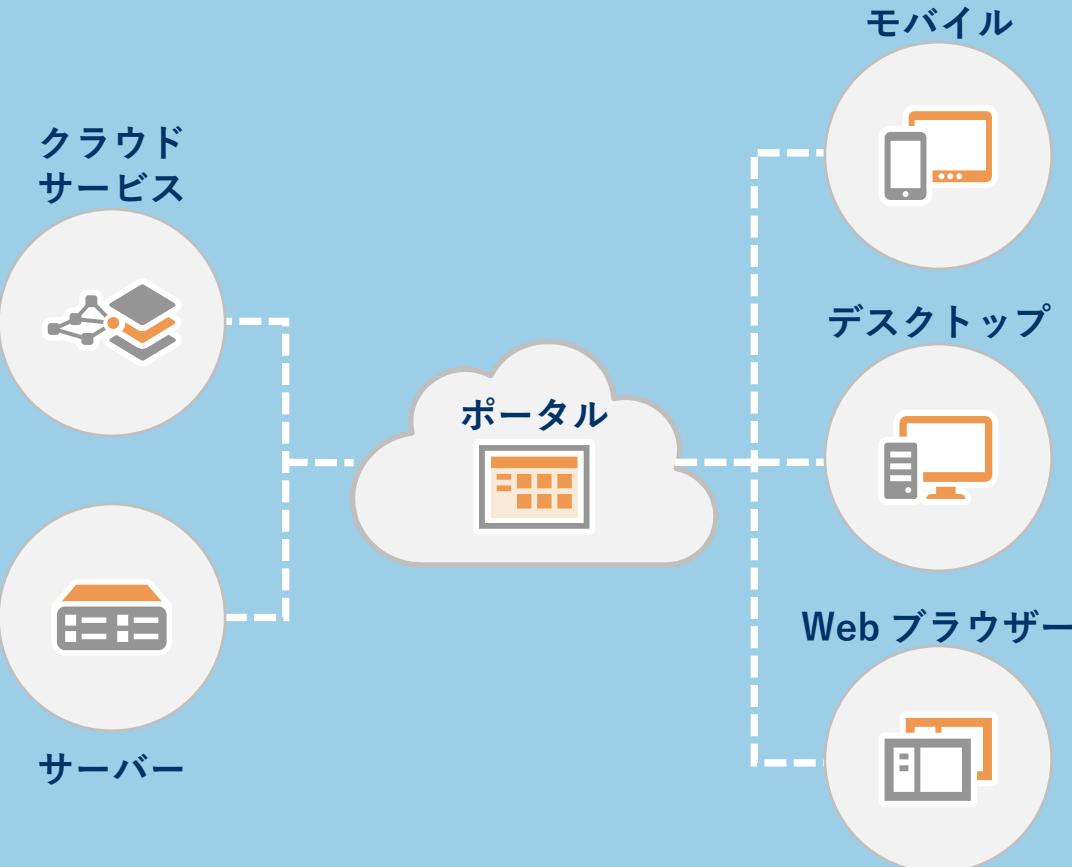
Esri のクラウドGISサービスを  
**1000万** 以上  
のユーザーが利用

Fortune 100 企業の  
**90%** が導入

# ArcGISについて

# ArcGIS

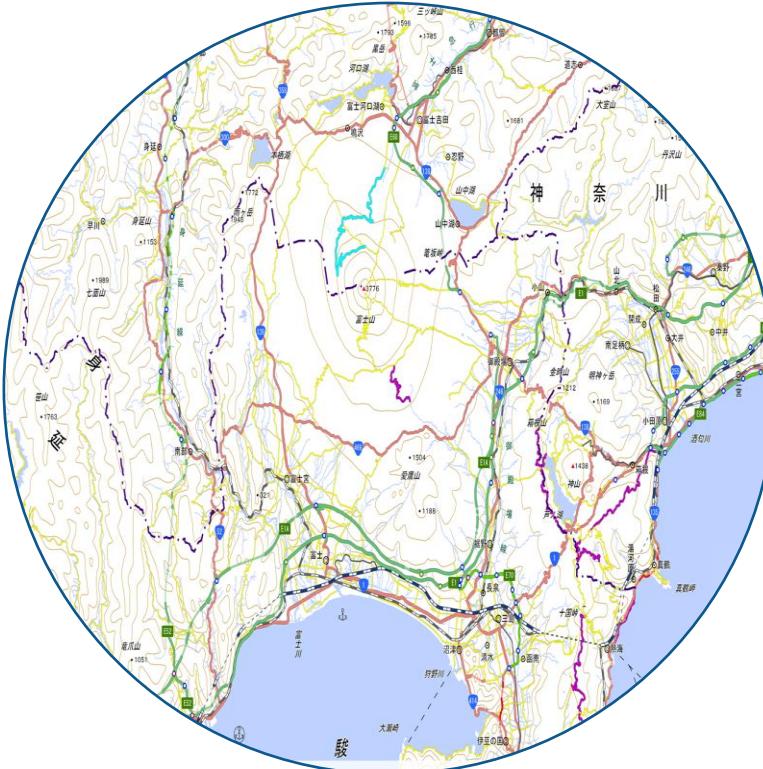
## 地理空間情報を最大限に活用できる GIS プラットフォーム



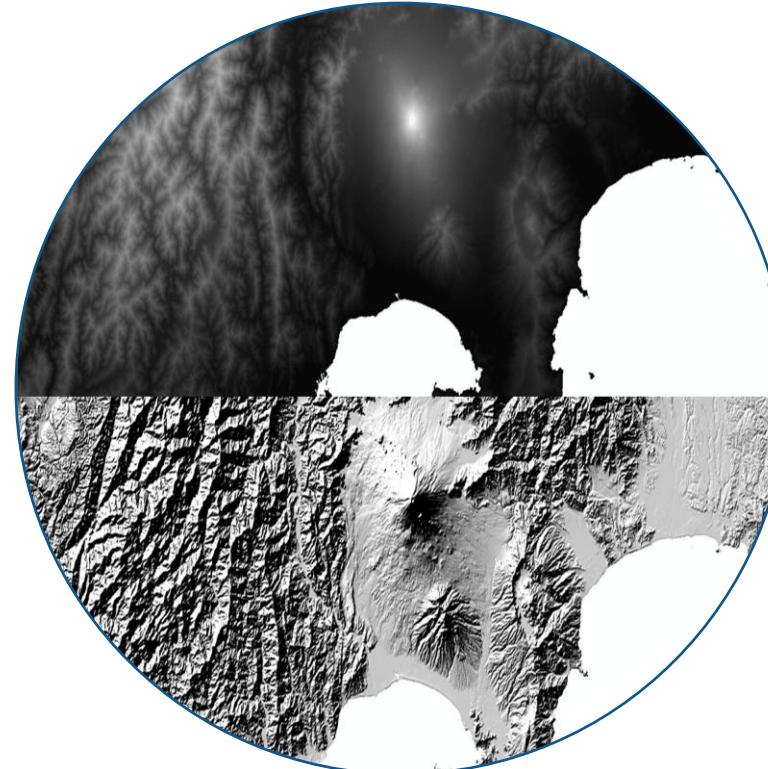
「あらゆる地理空間情報」を「あらゆる環境」で活用

# ArcGIS を利用した地理院地図の活用

# ArcGIS における地理院地図の活用



ベースマップ



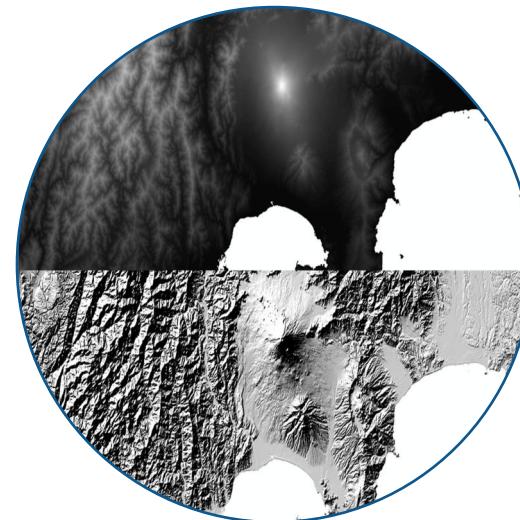
DEM / 陰影起伏



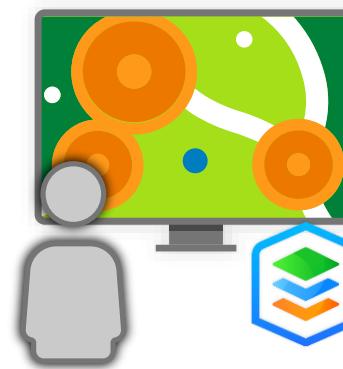
空中写真 / オルソ画像

# ArcGIS における地理院地図の活用

DEM / 陰影起伏 を用いてできること



DEM / 陰影起伏



ArcGIS

可視解析

水文解析

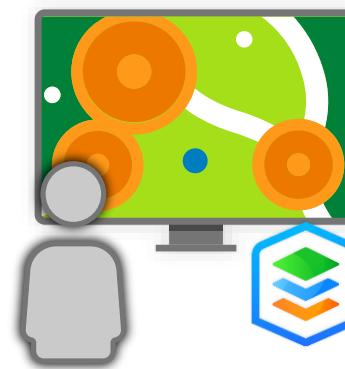
日射量解析

# ArcGIS における地理院地図の活用

空中写真 / オルソ画像 を用いてできること



空中写真 / オルソ画像

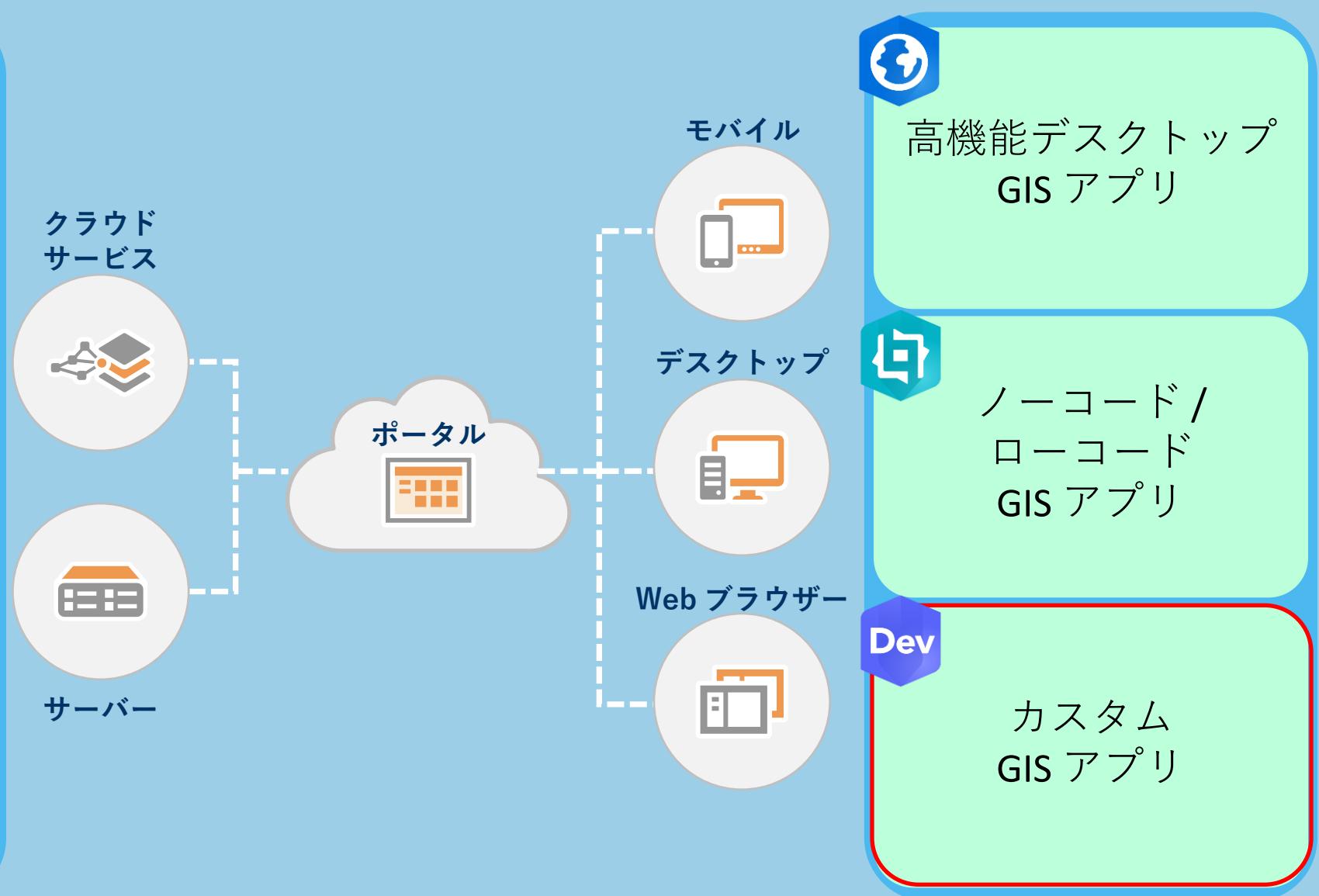


ArcGIS

物体検出

変化検出

スペクトル解析



# よくある問い合わせ

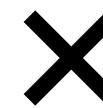
- ArcGIS で地理院地図のベースマップを利用したい
- 自社で保有しているデータを簡単に重ね合わせたい
- 自社のデータを強調するためにベースマップ（地理院地図）をカスタマイズしたい



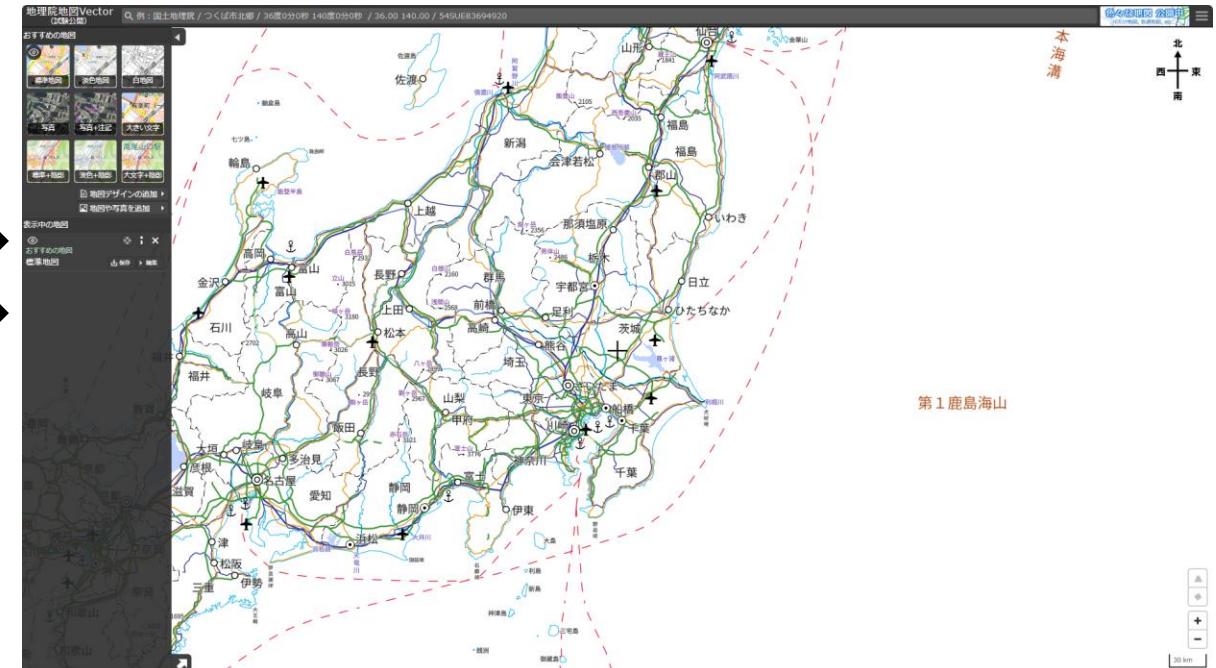
# ArcGIS × 地理院地図 Vector

## ArcGIS の強み

- 独自のデータを簡単に公開
- 公開データを簡単に参照
- フィーチャのデザインを簡単に設定、変更



## 地理院地図 Vector



# 開発要件

データホスト

 [ArcGIS Online](#)

アプリ開発

 [ArcGIS Maps SDK for JavaScript](#)

ベースマップ

 [地理院地図 Vector](#)



## いつでもみんなが使える GIS

マップの作成

データの解析・操作

共有・共同作業



いつでもどこでも、必要な時にアクセスして利用可能

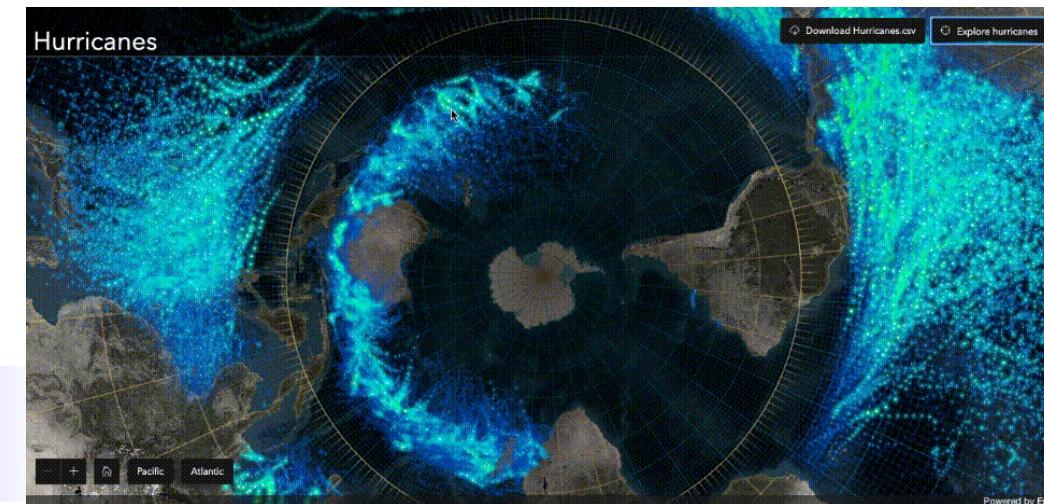


インタラクティブな Web 地図アプリ開発をサポートする強力な SDK

WebGL を用いた高品質な描画

豊富なビジュアライゼーション

多様なデータソースをサポート



すぐ Web 地図アプリを開発できる  
自由なカスタマイズで UI/UX も考慮した開発をサポート

# ArcGIS Maps SDK for JavaScript で 地理院地図のベクター タイルデータを重ねる方法

- `VectorTileLayer` クラス

下記のようにインスタンスを作成することでマップに追加が可能

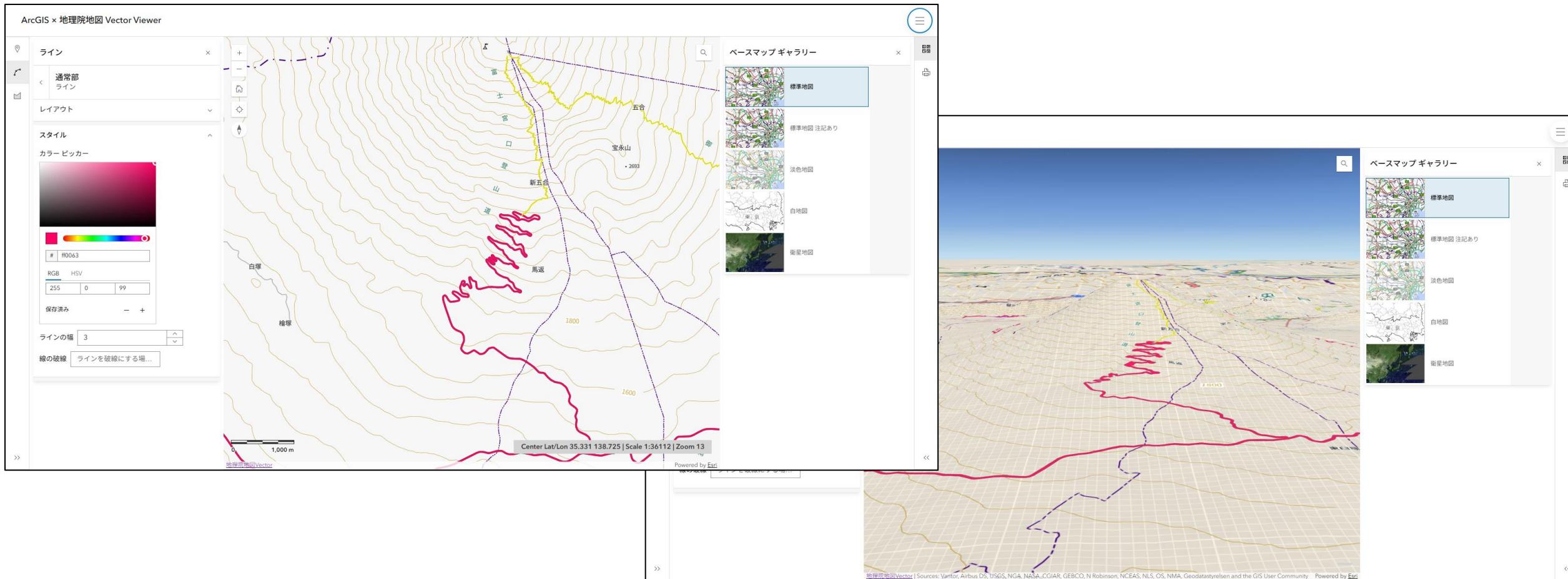
```
new VectorTileLayer(  
  url: "<地理院のスタイル ファイルの参照 URL>"  
);
```

ベクター タイルを追加やベースマップとして利用する方法に関しては、以下のブログにて紹介しています。

[「地理院地図Vector」（仮称）を ArcGIS で表示してみました - Esri Community](#)

[「地理院地図Vector」（仮称）を ArcGIS で表示してみました - 第2弾 - Esri Community](#)

# デモ



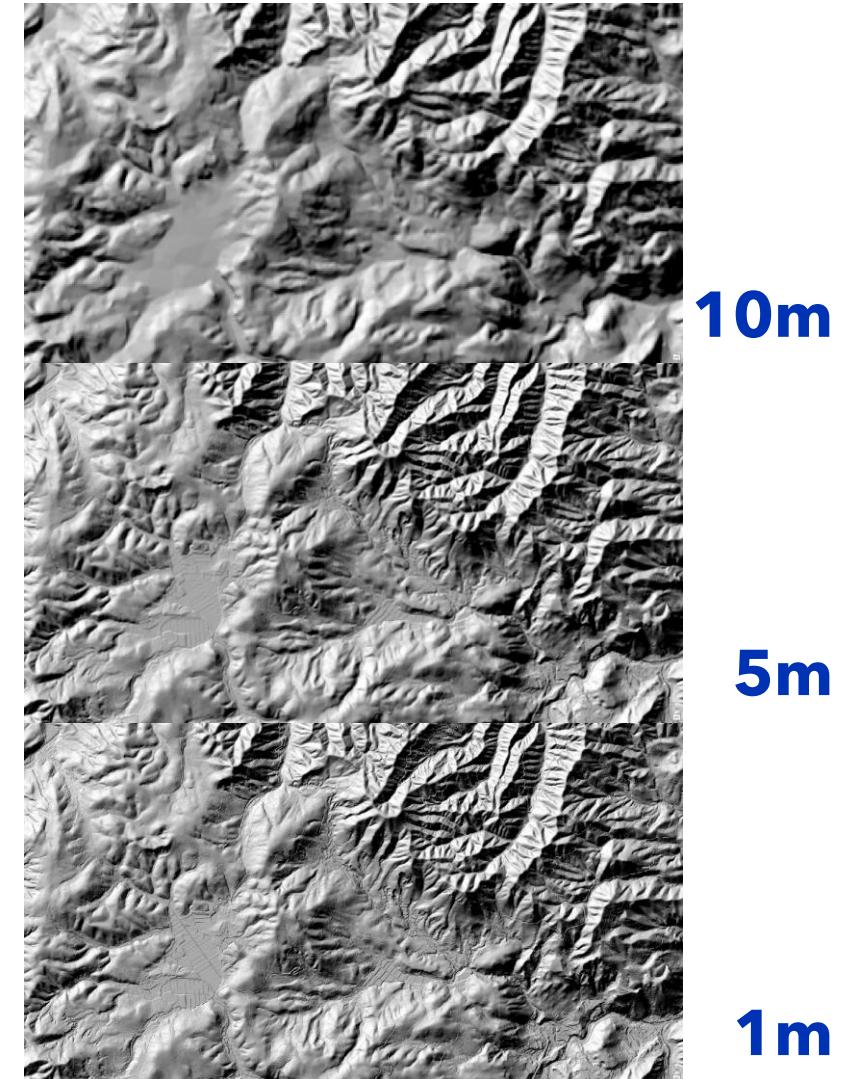
動作確認用 URL : <https://esrijapan.github.io/arcgis-samples-4.0-js/samples/gia/>

GitHub : <https://github.com/EsriJapan/arcgis-samples-4.0-js/tree/gh-pages/samples/gia>

# トピックス

# 1m メッシュの数値標高モデル対応

- ArcGIS Pro で使用できる  
1m、5m、10mメッシュの数値  
標高モデルを変換するツールを  
無料公開中  
[アドインツール | ArcGIS リソース集](#)
- 1m メッシュの DEM、陰影起伏  
データの近日販売予定



# 測地成果 2024への対応

- **ArcGIS Pro 3.6  
ArcGIS Enterprise 12.0**

より測地成果 2024 に標準対応

- 水平座標系
  - 日本測地系 (JGD2024)
  - 平面直角座標系第1～19系 (JGD2024)
  - UTM 座標系 第 51～56 帯N (JGD 2024)
- 鉛直座標系
  - 日本測地系 (JGD2024)
  - Japanese Geodetic Datum 2024 (vertical) height



# 開発リソースのご紹介

# ArcGIS Developers 開発リソース集 (日本語)

- 開発者アカウントの作成～アプリ公開までの簡単な手順

- 開発者アカウントの作成
- API キーの取得
- ロケーションサービスの利用
- API/SDK を利用したアプリ開発
- セキュリティと認証の紹介
- デプロイの紹介



## ArcGIS Developers 開発リソース集

本サイトは、ArcGIS の API / SDK を利用して開発する方向けに、開発をよりスムーズにスタートしていただけるよう、ArcGIS Platform を利用した開発、開発環境の構築から簡単なアプリケーション作成までのガイド、開発に役立つ技術 Tips 集を紹介しています。

[ArcGIS Platform](#) は、ロケーションサービスを提供する PaaS (Platform as a Service) です。サービスの詳細は [ESRIジャパン製品ページ](#)をご覧ください。

[ArcGIS Developers](#) が提供するサービスの詳細は [ESRIジャパン製品ページ](#)をご覧ください。

### 目次

- スタートアップガイド
  - 開発を始める方のために必要なアカウントの作成、APIキーの取得、ロケーションサービスの利用、各 API / SDK を使った開発の基本的な流れからセキュリティ、デプロイまで ArcGIS Platform を利用した開発手順にそって学べる情報をまとめています。
- もっと学ぶ
  - スタートアップガイドをひと通り学び終えた方は、次のステップとして、何を見て学習すれば良いのか、より深く学べるように情報をまとめています。米国 Esri 社が無償で提供している学習素材や、ESRIジャパンのスタッフが作成したサンプルプログラム、過去に実施したセミナーやハンズオンの資料、ブログ記事など、多くの情報をまとめています。
- 技術 Tips 集
  - 各 API / SDK を使用した開発をサポートするドキュメント（インストールガイド、アプリケーションの配布など）や、データの可視化に関する技術 Tips をまとめています。

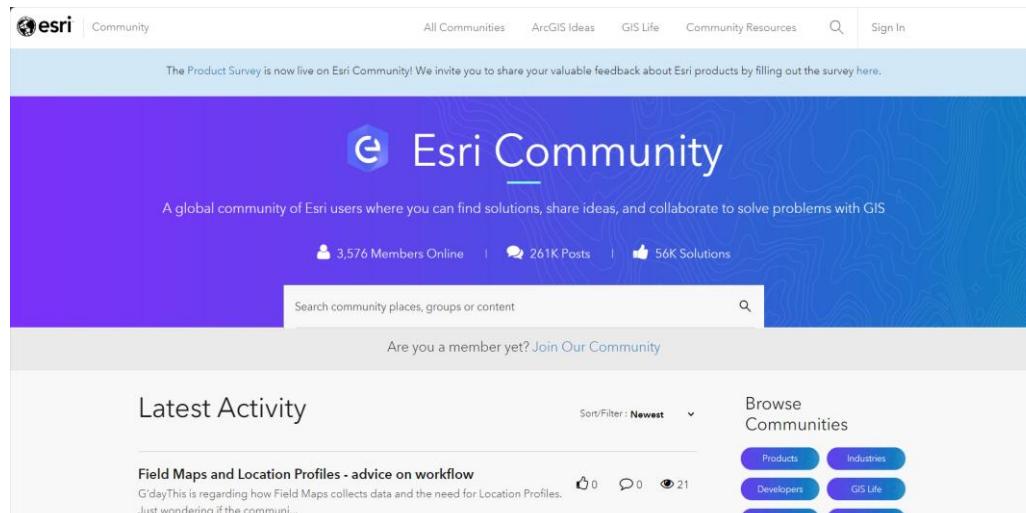
### プライバシーポリシー

- [ESRIジャパン Web サイトポリシー](#)

[ArcGIS Developers 開発リソース集 \(esrijapan.github.io\)](https://esrijapan.github.io)

# Esri Community

- ・米国ESRI が提供している Esri コミュニティのサイト
- ・ユーザー、米国ESRI スタッフ、ディストリビューターが参加



<https://community.esri.com/>

- ・各種 API / SDK の質問や回答
- ・Esri Community 内の弊社が管理する開発者向けグループ
- ・開発ブログを定期配信

## All Communities > Global > ArcGIS 開発者コミュニティ



<https://community.esri.com/t5/a/tkb-p/arcgis-japanese-developer-community-docs>

# まとめ

- ArcGIS ではさまざまなデータタイプを簡単に統合可能
- DEM/陰影起伏、空中写真/オルソ画像を使用して高度な解析が可能
- 既存機能で満たせない要件はカスタム アプリで対応可能
- 最新のトレンドにも適宜対応



esri ジャパン